

2015年9月16日(水)

日本食糧新聞

7ページ(全82ページ)



利用者の要望に合わせて検索するジー・サーチ社・川原綾氏、左は同僚の熊野康孝氏

機能性表示食品の申請手助け

ジー・サーチ プロフェッショナルサービス営業部 川原綾氏

利用者の要望に合わせて

科学技術文献を検索

IIIは科学技術、医学・薬学関係の国内文献、海外文献も検索できる。臨床試験につ

にアドバイスするだけでなく、検索代行も行う。利用者に寄り添う部署にいる。

機能性表示食品制度が話題になり始めたころは1日1件の問い合わせがあり、最近でも週に1件の問い合わせがあるという。

「二重言検法」は「ダブルフラインドテスト」といった用語で記述されている場合もあり、利用者の意図を汲みながら検索している。

川原氏は8年前まで医薬品メーカーで、大参照先にJDream IIIがあったときに、「利用者に役立っている分、消費者庁のリストに記載されている機能性表示食品の論文の

ト介入試験など専門用語が乱れ飛ぶ論文が多く、論文自体も非常に多岐あつて適切な論文を選ぶのも大変だ。

でも検索できる数少ないデータベースだ。海外の文献については日本語の要約もついている。川原氏は検索代行の相談を受けたときに利用者の話し合いを重視する。どういった成分の

社に転職した。食品の機能成分、検査・評価方法などは医薬品に通じることもあり、正しく評価できる。利用者と細かい打ち合わせをして検索を削除するスクリーニングをかける。苦勞をしている分、消費者庁のリストに記載されている機能性表示食品の論文の

機能性表示食品の申請には論文による科学的な証拠、根拠が必要だが、二重言検法、ヒ

社ジー・サーチのプロフェッショナルサービス

方に通じた研究者があまりいない中堅以下だ。ジー・サーチ社は日本国内で最大のデータベース会社。同社が運

用しているJDream IIIの使い方を利用者

はハードルが高い。川原氏は検索代行の相談を受けたときに利用者の話し合いを重視する。どういった成分の

川原氏は8年前まで医薬品メーカーで、大参照先にJDream IIIがあったときに、「利用者に役立っている分、消費者庁のリストに記載されている機能性表示食品の論文の

「利用者に役立っている分、消費者庁のリストに記載されている機能性表示食品の論文の